

全国初！広域自治体×キャンピングカー活用「周遊型ワーケーション」推進連携協定を締結

～ 西九州させば広域都市圏（長崎県10市町・佐賀県2市町）における新しい旅のルート・滞在コンテンツの造成～

トラストパーク株式会社（本社：福岡県福岡市博多区、代表取締役：山川 修）は、2021年6月29日に長崎県佐世保市（市長：朝長 則男）と「西九州させば広域都市圏周遊型ワーケーション推進連携協定」を締結しました。

本協定の締結により将来の移住につながる可能性を有する関係人口の創出・拡大を図るために「周遊型ワーケーション」の受入基盤の整備を進める支援として、新しい旅のカタチや周遊コースの提案と、2020年から九州周遊観光活性化コンソーシアムとして推進中のキャンピングカーを活用した周遊型観光・ワーケーション『九州バケワーク』と連動させ、西九州エリアの情報発信を強化し、福岡を起点とした車泊（くるまはく）ユーザー等にワーケーション利用を推進してまいります。

（九州バケワークとは？ <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000022.000028008.html>）



代表者記念撮影 手交式：（左から）佐世保市長 朝長 則男氏、トラストパーク株式会社 代表取締役 山川 修 ※撮影時のみマスクを外しました。



全員での記念撮影



新しい旅のカタチ「九州バケワーク」

西九州させぼ
広域都市圏

西九州させぼ広域都市圏・周遊型ワーケーション



● これまでの取り組み

トラストパークは「地域社会の幸福」を理念に掲げ「駐車場が人と街をつなぐ」をコンセプトとして、車社会と地域社会を繋ぐまちづくり、地域コミュニティとの連携、地域との協働による賑わいづくりによる地域の活性化に取り組んでいます。

佐世保市においては、佐世保駅・佐世保港に隣接した大型商業施設「させぼ五番街」の駐車場運営管理をきっかけにWEBサイト「トラストナビ」に佐世保まちなか商店街のお店と商店街の提携駐車場などを掲載。SASEBOまち元気協議会の下部組織「SASEBOまち元気向上委員会」にて、SASEBOまちなかウォーキングスタンプラリーを企画推進し、2015年～2019年の5年間、商店街・地元大学などと協働による協賛型イベントを開催してきました。

2013年 7月～	WEBサイト「トラストナビ」に佐世保まちなか商店街のお店と他社含む商店街の提携駐車場を掲載開始
2013年 11月～	させぼ五番街の駐車場運営管理を開始
2014年 11月～	サンクル四番館の駐車場運営管理を開始
2015年 3月～	SASEBOまち元気協議会の下部組織「SASEBOまち元気向上委員会」にて、SASEBOまちなかウォーキングスタンプラリーを企画推進。2015年～2019年の5年間、補助金を使わずに商店街・地元大学と協働による協賛型イベント開催。
2016年 7月～	SASEBOまちなかポータルサイトの制作。GPSスタンプラリーコンテンツ開発。商店街イベントや長崎国際大学の地域連携活動で利活用。



安心・安全・快適な駐車場サービスの提供を目指し、地域コミュニティと連携協力しながら、マチの課題を「マチの価値」に変える取り組みとして、ICTコンテンツの開発から、市街地の賑わいづくりに向けた提案やイベントの企画・実行支援を行わせて頂いています。

● 新しい旅のカタチ「車泊（くるまはく）」の実証実験

九州周遊観光活性化コンソーシアム（代表機関：トラストパーク株式会社）は、2021年8月から九州各地の不稼動時間帯のスペース等にキャンピングカーを設置し「車泊(くるまはく)」体験モニターを募集。自然との触れ合いや地域ならではの体験、密のない開放的な空間・プライベートな空間で過ごすコト消費データ等を収集・分析し、With/Afterコロナ時代における滞在コンテンツの造成を図っています。

2017年 4月～	総務省IoTサービス創出支援事業(平成28年度第2次補正予算)の委託事業として、九州周遊観光活性化コンソーシアム(代表機関:トラストパーク)が提案した「シェアリングエコノミー型九州周遊観光サービスモデル事業」を採択。熊本県・長崎県の広域自治体と連携した実証事業を開始。
2018年 4月～	総務省の委託事業を終了し、九州広域自治体と連携した車泊(くるまはく)事業を横展開。
2018年 12月	佐世保市中央公民館で九州シェアリングサミットin長崎を開催。
2020年 8月～	コロナ禍における実証実験を九州各地で実施。
2020年 11月～	三ヶ町の松浦公園でキャンピングカーを活用した車泊実証実験を実施。
2020年 12月～	九州バケーション(周遊型観光・ワーケーション)実証実験を開始。

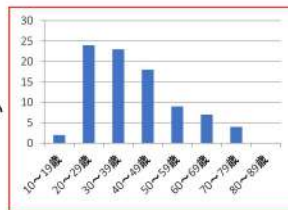
佐世保市においても2020年11月～商店街沿いの公園スペースをシェアリング活用し、キャンピングカー泊によるナイトタイムエコノミーの実証実験を行いました。キャンピングカーによる滞在消費などの検証結果を踏まえて、地域の強み“観光”を活かした周遊型観光・ワーケーションの提案と、西九州に来て見て・現場体験により現物認識を図る新たな旅のカタチ「車泊」コンテンツを提案しました。



● 移住・ワーケーションに関するアンケート調査データ

全国的にも転出数が多く、車でしか行けない地域、離島が多い長崎県。Webサイト「トラストナビ」で全国を対象としてアンケート調査を行ったところ“移住を考えている人”は7%で20代・30代が最も多い結果となった。2拠点や他拠点生活やワーケーションの興味がある人は全体の56%となった。

○移住（転出・転入届手続きあり）を考えていますか。
(2021.6.1~6.25 サンプル数=1,218件)

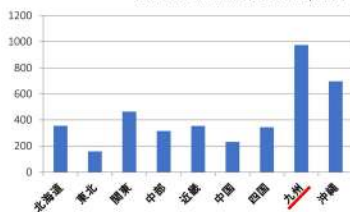


○移住せずに2拠点や他拠点で生活することに興味がありますか。
(2021.6.1~6.25 サンプル数=1,218件)

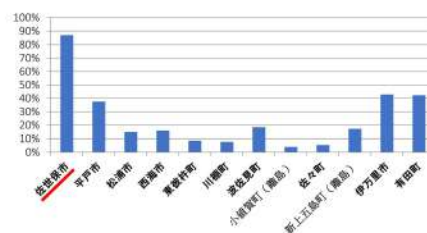


コロナの影響で2拠点生活など多拠点生活を考えている人が増えている中、現在住んでいる地域と別の場所で生活するとしての移住地としては“九州”が最も人気が高く、西九州させぼ広域都市圏（12市町）の認知度はハウステンボスのある“佐世保市”の認知度は最も高い結果となった。西九州を訪れる目的は観光が87%、仕事が4%、ワーケーション+多拠点生活+移住の合計は8%となった。

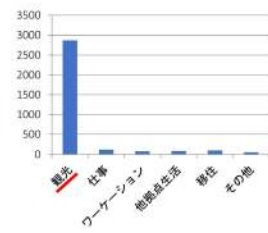
○今住んでいる地域と別の場所で生活するとした時の地域（複数選択）
(2021.2.1~2021.3.31 サンプル数=3,005件)



○西九州エリアで行ったことがある、もしくは知っている地域（複数選択）
(2021.2.1~2021.3.31 サンプル数=3,005件)



○西九州に行く際の目的（複数選択）
(2021.2.1~2021.3.31 サンプル数=3,005件)



● 周遊型ワーケーションの推進

キャッシュレス・無人運用が可能な電源供給型の休憩駐車管理システム「RVパークsmart」を導入し、福岡～佐賀～長崎の3県を跨ぐ「西九州周遊型観光・ワーケーション」ルート開発及び利用を促進しています。

福岡を起点とする車泊ユーザーを佐賀県・長崎県からなる『西九州させば広域都市圏』への送客を強化するとともに、佐世保市・観光事業者等と連携協力しながら交流・関係人口、滞在時間・消費を促進するコンテンツを創造していきます。



● トラストグループ推進体制

□ トラストパーク株式会社

<http://www.trustpark.co.jp/>

・九州バケワーク <http://tpnavi.com/business/vacawork/>

□ 株式会社RVトラスト

<https://rvtrust.com/>

・ レンタルキャンピングカー <https://cantal.jp/>

・ 車泊 (くるまはく) <https://rvparksmart.jp/>

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000024.000028008.html>

トラストパーク株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/28008

【 本件に関する問い合わせ先 】

トラストパーク株式会社

ソリューション本部

担当：西岡、田ノ上、橋本

TEL : 092-437-8934